

## 研究活動

### Research Activities

各研究者ごとの研究活動を[展覧会の企画・構成], [著書], [論文], [翻訳], [エッセイ, 作品解説など], [口頭発表, 講演など], [その他の活動]の7項目に分けて報告する(研究者名の五十音順)。項目は研究者によって多少の異同がある。また, これは各研究者の美術館内外での主要な研究活動の報告であり, 著作目録のようにあらゆる活動を網羅することを意図してはいない。大項目に絞った報告もある。

#### 河口公生/Kimio KAWAGUCHI

##### [論文]

「ヨアヒム・パティニール作《三連祭壇画:エジプト逃避途上の休息》と光学機器を用いた調査」(平成7-8年度文部省科学研究 総合研究(A)-1報告書)

『美術館における修復保存部門のあり方』(鹿島財団報告書)

#### 喜多崎 親/Chikashi KITAZAKI

##### [著書]

『交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本の美術』展カタログ(共著), 1996年7月, 国立西洋美術館, 東京国立近代美術館(作品解説など)

##### [論文]

「明治洋画のアイコンとナラティヴ—歴史画受容をめぐる一試論」, 『交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本の美術』展カタログ, 1996年7月, 国立西洋美術館, 東京国立近代美術館, pp.124-130

「断片としてのオリент—ギュスターヴ・モローの《聖なる象》にみる引用の構造」, 『国立西洋美術館研究紀要』No.1, 1996年3月, pp.50-65

##### [エッセイ, 作品解説など]

新収作品解説「ギュスターヴ・モロー《聖なる象》」『国立西洋美術館年報』Nos.29-30, 1997年1月, pp.16-19

展覧会記録「ギュスターヴ・モロー」, 『国立西洋美術館年報』Nos.29-30, 1997年1月, pp.26-27

##### [口頭発表, 講演など]

講演「明治洋画のアイコンとナラティヴ」, 1996年7月, 東京国立近代美術館

連続講座「西洋美術史の4つのテーマ—歴史画・風俗画・静物画・風景画」, 1996年10月-11月, I.C.C.

##### [その他の活動]

『国立西洋美術館所蔵作品カタログ 絵画・彫刻』1997年3月(編集)

「西洋美術研究支援画像データベースと画像処理—欧米で開発された諸ツールのわが国における応用と作品研究」(文部省度科学研究費:一般研究B), 1995年度, 波多野宏之他4名との共同

##### 研究

国立西洋美術館情報委員(美術情報システムの運営・改善)  
早稲田大学文学部非常勤講師, 1996年4月-1997年3月

#### 幸福 輝/Akira KOFUKU

##### [論文]

「ヘリ・メット・ド・ブレスと初期フランドル絵画における異時同図表現をめぐる」, 『国立西洋美術館研究紀要』No.1, 1997年, pp.9-31

##### [エッセイ, 作品解説など]

「ゴフレード・ワルス《エジプト逃避途上の休息を伴う風景》」, 『国立西洋美術館年報』No.29-30, 1997年, pp.12-14

「バルトロメウス・ブレーンブルフ《バラムとろぼのいる海浜風景》」, 『国立西洋美術館年報』No.29-30, 1997年, pp.14-16

##### [その他の活動]

「クロード・ロランと理想風景」(1998年開催予定)の調査・準備

『国立西洋美術館年報』No.29-30の編集

『国立西洋美術館研究紀要』No.1の編集

カレル・ファン・マンデル『北方画家伝』の研究

明治大学政経学部, 同第二文学部非常勤講師(1996.4-1997.3)

#### 越川倫明/Michiaki KOSHIKAWA

##### [著書]

*Italian Sixteenth and Seventeenth Century Drawings from the British Museum: English Text Supplement*, exh. cat., The National Museum of Western Art, Tokyo, 1996(共著)

##### [論文]

“I disegni di Domenico Tintoretto: un contributo,” in *Arte Veneta*, Vol. 48, 1996, pp.57-69

“La Maddalena penitente della Pinacoteca Capitolina di Domenico Tintoretto”, in P. Rossi and L. Puppi (ed.), *Jacopo Tintoretto nel quarto centenario della morte. Atti del convegno internazionale di Studi*, Padova, 1996, pp. 115-118

「Dialogo della pittura di M. Lodovico Dolce, intitolato L' Aretino: 翻訳と注解(2)」, 『五浦論叢』3号, 1996年, pp.1-13(共著)

##### [口頭発表・講演など]

「ヴェネツィア絵画と中部イタリアの美術」, 1996年, 愛知芸術文化センターにおける講演

「美術史からみるヴェネツィア」1996年, NHK文化センター横浜における講演

「ヴェネツィア派とペンティメント」, 1996年, 文部省科学研究費中間報告会「西洋美術史研究における科学鑑定法の問題」(於京都

大学)口頭発表

「ヨーロッパの都市と美術: ヴェネツィア」1996年, 朝日カルチャーセンターにおける講演

[その他の活動]

セルジオ・ベネデッティ「カラヴァッジオ作《キリストの捕縛》: 再発見と修復過程について」1996年, 国立西洋美術館における講演会の企画運営

佐藤直樹/Naoki SATO

[著書]

『交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本の美術』展カタログ(共著), 1996年, 東京国立近代美術館

[論文]

「岸田劉生におけるデューラーの受容—複製画を通して見た西洋古典絵画」, 『交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本の美術』展カタログ, 1996年, 東京国立近代美術館, pp.98-105

[その他]

「身体の雄弁性」展(1999年開催予定)の調査・準備  
文部省在外研究(1996.10-1997.3): ハンブルク大学美術史研究所

高階秀爾/Shuji TAKASHINA

[著書]

『日本絵画の近代』, 青土社, 1996年  
『世界美術大全集27巻—ダダとシュルレアリスム』(共著), 小学館, 1996年  
『新版 日本美術を見る眼』, 岩波書店, 1996年  
『芸術のパトロンたち』, 岩波書店(岩波新書), 1997年

[論文]

「バロックとは何か」, 「都市と建築」, 「超越性と神秘性」, 「宮廷美術」(『バツハ全集』第1巻: pp.126-135, 11巻: pp.164-173, 7巻: pp.142-151, 9巻: pp.150-159, 小学館, 1996年  
「明治期歴史画論序説」, 『三の丸尚蔵館年報・紀要』創刊号, pp.109-116, 宮内庁三の丸尚蔵館, 1996年  
「美術に見る東西の自然観」, 『文化における〈自然〉—哲学と科学のあいだ』(芦津丈夫・木村敏・大橋良介編), pp.163-179, 人文書院, 1996年

[エッセイなど]

「ペイリー・コレクションのこと」(MoMA展), 『うえの』No.444/1996年4月号, pp.28-29  
「フォルクヴァング美術館展」, 山陽新聞, 1996年4月4日

「アメリカの町」, 「角館の町」, 「迷宮都市」, 「パリの魅力」(朝日新聞, 1996年4月8-11日連載)

「イタリア素描展」, 中日新聞, 1996年4月18日

「二枚の絵」, 「ステーンウェイク」, 「ヴァニタス・静物×誰が袖図屏風」, 毎日新聞・日曜くらぶ, 1996年4月28日

「西欧へのまなざし」, 『交差するまなざし—ヨーロッパと近代日本の美術』展カタログ, pp.7-12, 東京国立近代美術館, 1996年

「近代都市のイメージ」, 『近代都市と芸術展』カタログ, pp.24-25, 東京都現代美術館, 1996年

「ジャポニズム概論」, 『モードのジャポニズム』展カタログ, pp.8-15, 東京ファッションタウン西館, 1996年

「記憶の遺産」, 『中央公論』, pp.140-151, 中央公論社, 1996年  
「角館に続く美の伝統」, 『TRAIN VERT』, pp.6-7, 東日本旅客鉄道株式会社, 1997年2月号

「ICOM会議での報告」, 『博物館研究』Vol.32, No.1, pp.20-21, 財団法人日本博物館協会, 1997年

「上野の山に出会いの場を」, 『とうきょう広報』2月号, 東京都制作報道室広報部出版課, 1997年

「アカデミー・ジュリアンと徳永仁臣」, 『近代画説』第5号, pp.132-136, 1997年

「美術館と美術史学」, 『国立西洋美術館研究紀要』No.1, pp.5-8, 1997年

“Kobe One Year Later”, *JAPAN ECHO*, Vol.23, No.1, 1996, pp.46-47

“Japan’s National Storyteller”, *JAPAN ECHO*, Vol.23, No.2, 1996, pp.49-49

“The Heritage of Memory”, *JAPAN ECHO*, Vol.23, No.4, 1996, pp.70-77

“The Legacy of Endo Shusaku”, *JAPAN ECHO*, Vol.24, No.1, 1997, pp.72-73

“Museum funding: the situation in Japan “XXIst Century: What challenges for museums:” *ICOM NEWS*, ICOM, 1997

[監修]

『パリで出会う名画50』, 小学館, 1996年

『江戸のなかの近代—秋田蘭画と「解体新書」』, 筑摩書房, 1996年

『絵画の明治—近代国家とイメージーション』, 毎日新聞社, 1996年

[インタビュー・対談・座談会]

「この人 この本—『日本絵画の近代』」著作本紹介欄でのインタビュー記事, 河北新報他

「政治, 美術, 社会」(五木寛之×高階秀爾), 『世界美術大全集』第27巻月報, pp.2-6, 小学館, 1996年

「見立てと日本文化」(山口昌男×高階秀爾), 『日本の美学』24号, ペリカン社, 1996年

「21世紀を最高に生きるために」(安藤忠雄/片倉もとこ/高階秀爾, 司会・木村尚三郎), 『国際交流』74号, pp.2-21, 国際交流基金, 1997年

「上野を日本のグランルーヴルに」(芦原義信×高階秀爾), 日本経済新聞, 1997年1月5日

「インタビュー」, 『TOWER』No.15, pp.1-2, 水戸芸術館友の会会報, 1997年

「明治美術の光彩—白馬会をめぐって」, 白馬会展記念シンポジウムパネルディスカッション, 1996年11月18日, 日経ホール(『近代画説』明治美術学会誌第5号, pp.98-106に所載)

#### [講演]

「これからの都市とミュージアム」, スミソニアン協会長官来日記念シンポジウム, 東条会館ホール, 1996年5月

「情報革命と文化の未来」, 日仏文化サミット'96, 高輪プリンスホテル, 1996年6月

「近代版画と都市」, 「近代版画にみる東京」展記念講演会, 江戸東京博物館, 1996年8月

「ロダンの彫刻と日本近代美術」, 「国立西洋美術館所蔵—ロダン展」, 記念講演会, 東和町総合福祉センター, 1996年10月

「東西の出会いの200年」, 「日本絵画の西洋受容—江戸から現代まで」, 日仏会館, 1996年10月

「印象派から現代へ」, 水戸芸術館友の会第10回芸術講演会, 1996年12月

「東京の再生 文化の視点から」, 都民カレッジ丸の内キャンパス東京国際フォーラム移転記念連続講演会, 1997年1月

「コルビュジエと日本」, 田町建築会館, 1997年2月

「東京が目指す文化都市」, 東京都文化行政シンポジウム, 東京国際フォーラム, 1997年2月

「美術館の21世紀をひらく」, 慶應義塾大学(三田)北新館ホール, 1997年3月

#### 高橋明也/Akiya TAKAHASHI

##### [展覧会企画・構成]

「国立西洋美術館所蔵 ロダン展」, 1996年

##### [著書]

*La Modernité—Collections du Musée d'Orsay* (共著), Nihon Keizai Shimbun, Inc., 1996

『国立西洋美術館所蔵 ロダン展』カタログ(共著), 萬鉄五郎記念美術館, 国立西洋美術館, 1996年

##### [エッセイ, 作品解説など]

「西洋彫刻史の中のロダン」, 展覧会カタログ『国立西洋美術館所蔵ロダン展』カタログ, 1996年, pp.9-13

フランス地方ミュージアム巡り, (28)「オルナン, クールベ美術館」, (29)「リヨン織物美術館」, (30)「ポーヌ施療院とロヒール・ファン・デル・ウェイデン《最後の審判》」, (31)「クレルモン=フェラン市立美術館」, 『Bon Voyage』, Nos.70-73, エール・フランス国営航空会社, 1996-97年

「画家とモデル10選」, 日本経済新聞, 1997年1月30, 31日, 2月3-7日, 11-13日

##### [その他の活動]

東京芸術大学美術学部非常勤講師(1996年4月-9月)

「空の王者 ブーダン」(鹿児島市立美術館「ブーダン展」特別番組)出演, KTS鹿児島テレビ, 1996年8月24日放映

「名展覧会ベスト12〈海外編〉」, 『ブルータス』9月1日号, マガジンハウス社, 1996年, p.33

「国立西洋美術館所蔵 ロダン展」ギャラリー・トーク, 萬鉄五郎記念美術館, 1996年10月10日

「専門家がすすめるテーマ別の本〈美術〉」, 『地球の歩き方マガジン』No.25, ダイアモンド・ビッグ社, 1996年秋号, p.122

#### 田中正之/Masayuki TANAKA

##### [展覧会企画・構成]

「国立西洋美術館所蔵 ロダン展」, 1996年

##### [エッセイ]

「『美術史を読む』ためのキーワード, 解釈」, 『美術手帖』, 1996年4月号, pp.136-137

「『美術史を読む』ためのキーワード, 形式」, 『美術手帖』, 1996年5月号, pp.152-153

「美術史を読む, グリゼルダ・ポロック, フェミニズムと美術史」, 『美術手帖』, 1996年6月号, pp.142-166

「かたちの躍動, かたちの反復」, 『国立西洋美術館所蔵ロダン展』カタログ, pp.14-17

「美術館案内, フィラデルフィア美術館とメニール・コレクション(コレクターたちの挑戦)」, 『世界美術大全集』第27巻, 月報, 小学館, 1996年

「作品解説, エミール・ノルデ『男, 女, 猫』」, 毎日新聞, 1996年8月4日朝刊

#### 田辺幹之助/Mikinosuke TANEBE

##### [論文]

「教化図としての死の舞踏—ホルバインの死の舞踏図を中心として」, 「国立西洋美術館研究紀要」No.1, 1997年, pp.32-49

##### [エッセイなど]

「ドイツ初期印刷本の中の死の舞踏」, 『書物の森へ 西洋の初期印刷本と版画』展カタログ, 町田市立国際版画美術館, 1996年10月5日-11月24日, pp.40-48

展覧会報告「アーヘン市立ズエルモント=ルートヴィヒ美術館蔵 聖なるかたち—後期ゴシックの木彫と板絵」, 『国立西洋美術館年報』Nos.29-30, 1996年, pp.20-21

展覧会報告「ゴータ市立美術館所蔵作品による 宗教改革時代のドイツ木版画」, 『国立西洋美術館年報』Nos.29-30, 1996年, pp.24-25

##### [講演など]

博物館職員講習における講義, 国立教育会館, 社会教育研修所, 1996年6月

##### [その他の活動]

Interbationaler Totentanz-Kongress, Luzern, 1996年9月(会

議参加)

「死の舞踏」展(2000年開催予定)のための調査

寺島洋子/Yoko TERASHIMA

[著書]

『どうして像はつくられたの?』(セルフガイド/共著), 1996年

『どうして像はつくられたの?』(ティーチャーズガイド/共著), 1996年

[口頭発表, 講演など]

「美術館教育の展望」, 東京都中学校美術研究会研修会, 江東区立第三亀戸中学校, 1996年11月15日

「セルフガイドの制作とその効用」, 長野県博物館等関係職員研修会, 長野県庁, 1997年2月13日

宮崎県立美術館の学芸研修, 宮崎県立美術館, 1997年3月7日

[教育普及活動]

ギャラリートーク「どうして像はつくられたの?」, 1996年7月2日-9月1日

サブ・プログラム「どうして像はつくられたの?」, 〈像のお話きかせてあげる〉1996年7月13日, 8月10日, 〈仏像ファッション着付け教室〉1996年7月27日, 8月24日

[その他の活動]

「日本の美術館教育の調査研究」, ポーラ美術振興財団平成8年度助成, 1997年1月-1998年

『『ものがたりの森』— 子どものための美術展』(1997年夏開催予定)のための調査

「法隆寺献納宝物と正倉院の源流に関する調査研究」, 文部省科学研究費:国際学術研究, 東京国立博物館, 平成8年度調査に参加(1996年12月2日-15日, ベトナム, タイ)

波多野宏之/Hiroyuki HATANO

[著書]

『美術館革命』(共著), 大日本印刷, 1997年

『データベース白書1997』(共著), データベース振興センター, 1997年(項目執筆)

*The dictionary of art*, Vol. 1, London, Macmillan, 1996(項目執筆)

[論文]

「美術研究支援情報資源の集中と分散— フランスにおける美術館・図書館・情報システムの特徴をめぐって その1」, 『国立西洋美術館研究紀要』No.1, 1997年, pp.74-87

「美術館における部門別作品収集と情報管理の一元化— メトロポリタン美術館アントニオ・ラッティ・テキスタイル・センター」, 『ファッションドキュメンテーション』No.6, 1997年, pp.32-37

[口頭発表, 講演など]

「フランスにおける映像関連の施設と資料」, 日仏図書館情報学会セミナー, 1997年1月

「ヨーロッパにおける映像情報集積技術について」, 国立民族学博物館共同研究会, 1997年1月

「欧米における文化財記録のシステム化とその政策」, 全国美術館

会議第5回シンポジウム「美術館と画像データベース」, 1997年2月  
「欧米における美術著作権問題とその周辺」, 全国美術館会議第12回学芸員研修会「美術著作権と新しいメディア」, 1997年3月

[その他の活動]

27th Annual Conference of ARLIS/UK & Ireland (Art Libraries Society of the United Kingdom and Ireland), Edinburgh, 1996.7(会議参加)

EVA '96 London: Electronic Imaging & the Visual Arts, London, 1996.7(会議参加)

62nd IFLA General Conference, Beijing, 1996.8(専門図書館部会調整委員会, 美術図書館分科会常任委員会出席等)

「西洋美術研究支援画像データベースと画像処理— 欧米で開発された諸ツールのわが国における応用と作品研究」(文部省科学研究費補助金基盤研究(A)), 1996年4月-1997年3月)

「新しい視覚情報開発のための民族誌映画の分析と活用」(国立民族学博物館共同研究, 1996年4月-1997年3月)

「西洋美術研究に資する画像情報資源の開発及び研究支援画像データベースの構築と共有化に関する調査研究」(平成7年度文部省在外研究 1995年10月-1996年7月)

21世紀ギャラリー(仮称)建設に伴う新情報資料室設置準備  
図書資料データ週及入力

国立西洋美術館美術館情報システムの改善

国立西洋美術館情報資料懇談会の継続開催

慶應義塾大学文学部非常勤講師(1996年4月-1997年3月)

雪山行二/Koji YUKIYAMA

[展覧会企画]

「交差するまなざし— ヨーロッパと近代日本の美術」(国立西洋美術館, 東京国立近代美術館合同企画展, 会場:東京国立近代美術館, 会期:1996年7月20-9月1日)

[研究ノート]

「同時代の版画をとらえて見たゴヤの版画集〈戦争の惨禍〉」, 『国立西洋美術館研究紀要』No.1, 1997年3月, pp.66-73

[口頭発表, 講演など]

「版画にみるゴヤとスペイン独立戦争」, スペイン史学会第18回大会発表, 1996年10月27日, 明治大学(要旨は「スペイン史学会会報」No.52に掲載)

「ブラド美術館に見る西洋絵画の流れ」, 栃木県生涯教育センター主催, 1996年7月

「スペイン絵画の見方」, 静岡県立美術館友の会主催, 1996年8月

「スペイン美術— 聖と俗の架橋」(エルミターージュ美術館展記念講演), 三重県立美術館主催, 1996年11月

そのほか, 稜角倶楽部美術鑑賞同好会の例会で2回講演(1996年6月, 1997年3月)

[エッセイ, 書評など]

「松方コレクションを越えられるか— 国立西洋美術館」, 『現代の眼— 東京国立近代美術館』No.498, 1996年6-7月号

フィリップ・モールド『眠れる名画— スリーパーを競り落とせ』書評, 『美術手帖』, 1996年12月号

[その他の活動]

『西美からのメッセージ—国立西洋美術館21世紀将来構想』(共編著, 第2章と第8章第2節を執筆), 国立西洋美術館, 1996年9月  
オーストラリア政府の招待により, オーストラリアの5都市の美術館,  
研究所, 画廊等を訪問し, 関係者と意見交換した。1996年4月

当館寄託作品《エル・エンペシナードの肖像》(ゴヤに帰属)の調査  
研究, および展覧会「ゴヤ, エル・エンペシナードとアラゴン地方に  
おけるスペイン独立戦争」(サラゴース, サスタゴ宮, 1996年11月  
15日-12月15日)への企画協力・展示指導

文化庁主催「21世紀にむけての美術館の在り方に関する調査研究  
協力者会議」, 副座長

文化庁主催「文化による国際貢献に関する調査研究協力者会  
議」, 委員

全国美術館会議 博物館法検討委員

東京国立近代美術館運営委員

三重県立美術館専門委員など